

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
東埼玉資源環境組合地域	東埼玉資源環境組合、越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	平成23年度～平成29年度	平成23年度～平成29年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成20年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	67,739t	65,592t (-3.2%)	69,448t (2.5%)	-78.1%
	1 事業所当たりの排出量	2.01t	1.95t (-3.1%)	2.06t (2.5%)	-80.6%
	生活系 総排出量	215,355t	218,788t (1.6%)	205,244t (-4.7%)	-293.8%
	1 人当たりの排出量	246.0kg/人	228.4kg/人 (-7.2%)	198.3kg/人 (-19.4%)	269.4%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	283,094t	284,380t (0.5%)	274,692t (-3.0%)	-600.0%
再生利用量	直接資源化量	11,509t (4.1%)	11,619t (4.1%)	11,748t (4.3%)	—%
	総資源化量	52,862t (18.7%)	57,171t (20.1%)	50,202t (17.3%)	-100.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	139,077MWh	129,394MWh	144,141 MWh	103.6%
最終処分量	埋立最終処分量	28,984t (10.2%)	25,715t (9.0%)	20,505t (7.5%)	225.0%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合

※2 排出量は実績の割合/目標の割合。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合)

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績/目標※3	
総人口	875,444人	957,823人	927,360人		
公共下水道	汚水衛生処理人口	635,520人	790,776人	749,832人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	72.6%	82.6%	80.9%	83.0%
農業集落排水施設等	汚水衛生処理人口	443人	800人	532人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0.1%	0.1%	0.1%	—%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	67,672人	92,957人	64,304人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.7%	9.7%	6.9%	-40.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	171,809人	73,290人	112,692人	
	汚水衛生未処理率	19.6%	7.7%	12.2%	62.2%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合)

2 各施策の実施状況

施策種別	施策番号	施策の名称等	実施主体	施策の内容	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績																																																																																
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	学校、地域でのごみ減量化等に係る教育活動の実施	構成市町	地域構成市町がそれぞれ学校・地域住民に対し学習活動を支援	平成23年度～平成29年度	<p>[越谷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> リサイクルプラザ施設見学を通してごみ減量の啓発を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学回数(回)</td> <td>24</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>49</td> <td>67</td> <td>56</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 生ごみ処理機購入補助金の交付によるごみの減量化を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数(件)</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>23</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>[草加市]</p> <ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみ回収の職業体験として、毎年2校4～5名の中学生が参加して粗大ごみの回収・処理について学び、ごみに対する意識の向上を図った。 小学校4年生向けのごみ減量に関する副読本「くらしとごみ」を作成し、毎年市内22校の小学校へ配布を行い活用してもらった。 <p>[八潮市]</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前講座(講師派遣)による「ごみの現状について」の環境教育を平成24年度と平成29年度に各1件実施した(参加人数は、平成24年度22人、平成29年度102人)。 リサイクルプラザの施設見学を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数(団体)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>見学者数(人)</td> <td>359</td> <td>122</td> <td>132</td> <td>36</td> <td>54</td> <td>74</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 分別等体験学習を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日数(日)</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参加人数(人)</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>26</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>38</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>[三郷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校からの要請に応じて環境学習を実施した。 	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	見学回数(回)	24	22	30	49	67	56	58	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	交付件数(件)	30	40	23	36	30	25	24	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	団体数(団体)	5	3	4	3	4	3	4	見学者数(人)	359	122	132	36	54	74	47	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	実施日数(日)	8	14	11	6	7	5	2	参加人数(人)	34	36	26	38	45	38	2
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																															
見学回数(回)	24	22	30	49	67	56	58																																																																															
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																															
交付件数(件)	30	40	23	36	30	25	24																																																																															
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																															
団体数(団体)	5	3	4	3	4	3	4																																																																															
見学者数(人)	359	122	132	36	54	74	47																																																																															
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																															
実施日数(日)	8	14	11	6	7	5	2																																																																															
参加人数(人)	34	36	26	38	45	38	2																																																																															

					<ul style="list-style-type: none"> ・自治体等各種団体からの要請に応じて、出前講座・施設見学会を実施した。 <p>[吉川市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会等へのごみ減量説明会を実施し、平成29年度は37回開催し延べ911人が参加した。 <p>[松伏町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌で、ごみ処理場の施設見学を啓発した。 																																																																								
12	分別区分の徹底、排出抑制・再資源化の普及啓発	構成市町	PRの強化や説明会などを実施していく	平成23年度～平成29年度	<p>[越谷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員による分別や排出方法の普及啓発を実施した。 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>推進員数（人）</td> <td>589</td> <td>545</td> <td>548</td> <td>578</td> <td>586</td> <td>644</td> <td>639</td> </tr> </table> <p>[草加市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の古着・廃食油の拠点回収を平成25年10月から月2回としたほか、平成26年12月から市内公共施設15か所に古着の回収ボックスを設置した結果、古着の回収量が平成23年度36 t から平成29年度58 t まで増加した。 ・児童生徒に対するごみの減量の意識啓発のため、アルミ缶回収を実施している市内の小中学校に対して、アルミ缶を回収し、回収量に応じた売却金の支払いを行った。 ・草加市リサイクルセンターでの施設見学を随時実施し、個人や、小学校、町会などの団体が来庁し、ごみの減量について学んだ。 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>見学者数（人）</td> <td>1,048</td> <td>1,242</td> <td>955</td> <td>1,209</td> <td>766</td> <td>1,008</td> <td>919</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機等の購入者に対して、購入補助金を交付した。 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>補助額（千円）</td> <td>686</td> <td>624</td> <td>628</td> <td>202</td> <td>280</td> <td>381</td> <td>510</td> </tr> </table> <p>[八潮市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌への記事掲載を行った ・ごみカレンダーの発行を行った。 ・リサイクルフェアを開催した。 <table border="1"> <tr> <td>年度</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>10/2</td> <td>9/30</td> <td>10/6</td> <td>10/5</td> <td>10/4</td> <td>10/2</td> <td>10/1</td> </tr> <tr> <td>来場者数（人）</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>500</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>850</td> </tr> </table>	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	推進員数（人）	589	545	548	578	586	644	639	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	見学者数（人）	1,048	1,242	955	1,209	766	1,008	919	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	補助額（千円）	686	624	628	202	280	381	510	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	実施日	10/2	9/30	10/6	10/5	10/4	10/2	10/1	来場者数（人）	1,500	1,500	1,500	500	800	800	850
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
推進員数（人）	589	545	548	578	586	644	639																																																																						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
見学者数（人）	1,048	1,242	955	1,209	766	1,008	919																																																																						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
補助額（千円）	686	624	628	202	280	381	510																																																																						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																																						
実施日	10/2	9/30	10/6	10/5	10/4	10/2	10/1																																																																						
来場者数（人）	1,500	1,500	1,500	500	800	800	850																																																																						

				<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルアンブレラの活用を行った。 ・リサイクル品の販売を行った。 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>家具類 (点)</td> <td>54</td> <td>49</td> <td>56</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>55</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>自転車 (台)</td> <td>55</td> <td>54</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>48</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>売却額 (千円)</td> <td>322</td> <td>279</td> <td>285</td> <td>313</td> <td>288</td> <td>297</td> <td>278</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでごみの分別区分を紹介した。 <p>[三郷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ・広報紙などにより、ごみの減量・分別・資源化についてPRをした。 ・「わが家のごみ・資源物収集カレンダー」、「ごみと資源物の分け方・出し方」パンフレットを各戸配布し、分別の周知を図った。 ・市施設・小中学校にインクカートリッジ・乾電池・小型家電の回収ボックスを設置し、リサイクルの推進を図った。 <p>[吉川市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分け方・出し方のごみカレンダーを毎年全戸配布し、ごみの分別について周知を図った。 <p>[松伏町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌・ホームページでごみの分別及び抑制を啓発した。 	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	家具類 (点)	54	49	56	48	47	55	77	自転車 (台)	55	54	44	48	50	48	42	売却額 (千円)	322	279	285	313	288	297	278									
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																						
家具類 (点)	54	49	56	48	47	55	77																																						
自転車 (台)	55	54	44	48	50	48	42																																						
売却額 (千円)	322	279	285	313	288	297	278																																						
13	PTA、子ども会、地域団体活動への助成	構成市町	集団資源回収などの再資源化体制の構築や支援を継続する	平成23年度～平成29年度	<p>[越谷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収奨励補助金交付制度により活動団体への助成を行った。 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>交付団体数(団体)</td> <td>434</td> <td>431</td> <td>425</td> <td>430</td> <td>431</td> <td>435</td> <td>432</td> </tr> </table> <p>[草加市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古紙類等回収奨励金制度(1kg当たり7円)により奨励金を交付した。 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>交付額 (千円)</td> <td>5,755</td> <td>5,612</td> <td>5,303</td> <td>5,416</td> <td>4,825</td> <td>4,545</td> <td>4,252</td> </tr> </table> <p>[八潮市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源回収団体に奨励金を交付した。 <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </table>	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	交付団体数(団体)	434	431	425	430	431	435	432	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	交付額 (千円)	5,755	5,612	5,303	5,416	4,825	4,545	4,252	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																						
交付団体数(団体)	434	431	425	430	431	435	432																																						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																						
交付額 (千円)	5,755	5,612	5,303	5,416	4,825	4,545	4,252																																						
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																						

交付団体数(団体)	63	64	65	69	68	75	74
交付額 (千円)	10,055	9,512	8,958	8,881	8,600	8,346	7,612

(内訳)

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
紙類 (t)	1,161	1,100	1,035	1,016	990	943	850
ビン (本)	8,115	9,734	8,526	9,313	6,183	5,578	3,968
鉄類 (t)	16.0	14.0	8.7	10.1	9.6	9.1	9.9
ウエス (t)	47.3	41.9	39.9	39.6	41.7	37.4	32.5
PETボトル (kg)	1.5	1.2	1.0	1.3	0.9	1.3	1.4

[三郷市]

・ 集団資源回収実施団体に買い上げ金(6円/kg)を支払い、集団資源回収の推進を図った。

[吉川市]

・ 資源回収補助金制度により、地域団体等へ資源の回収量に応じて補助金を交付した(平成29年度：67団体、約5,800千円)。

[松伏町]

・ 資源回収団体へ回収実績に応じ奨励補助金を交付した。

14	事業者への排出抑制、資源回収の普及指導等	構成市町	事業者に対し、ごみ減量化計画の策定や、その遂行を求める	平成23年度～平成29年度	<p>[越谷市]</p> <p>・ 事業者向けの廃棄物の適正処理や減量化に対する説明会を組合と連携し平成26年度より毎年1回実施した。</p> <p>[草加市]</p> <p>・ 毎年60社程度の1日当たり100kgの事業系一般廃棄物を排出する事業者に対して、減量の啓発及び減量計画書の提出を依頼した。</p> <p>[八潮市]</p> <p>・ 搬入、排出事業者に向け東埼玉資源環境組合と研修会を実施した。</p> <p>[三郷市]</p> <p>・ 市内の多量排出事業者に対し、ごみ減量化計画の策定を促した。</p> <p>・ 市ホームページ・広報紙などにより、事業系ごみの減量のPRをした。</p> <p>[吉川市]</p> <p>・ 環境に配慮した事業者をエコショップとして認定した(平成29年度末現在46店舗認定)。</p>
----	----------------------	------	-----------------------------	---------------	---

						[松伏町] ・広報誌・ホームページで事業系ごみの排出抑制を啓発した。														
処理施設の整備に関するもの	1	高効率ごみ発電施設整備	組合		平成24年度～平成27年度	・高効率ごみ発電施設である東埼玉資源環境組合第二工場ごみ処理施設の整備を実施した。														
	2	汚泥再生処理センター整備	組合		平成28年度～平成29年度	・し尿処理施設を有機性廃棄物リサイクル推進施設である汚泥再生処理センターとして更新・整備を実施した。														
	3	廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業	組合		平成28年度～平成29年度	・第一工場ごみ処理施設の基幹的設備改良として、熱回収施設の老朽化対策及び災害廃棄物処理体制の強化を実施した(交付率1/3)。														
	4	合併浄化槽整備	越谷市		平成23年度～平成29年度	・市の単独予算だけでなく国や県の補助金等を活用し、190基を整備した(計画基数は229基)。														
	5	合併浄化槽整備	吉川市		平成23年度～平成29年度	・市街化調整区域においてごみ減量説明会に伴い合併浄化槽の設置の説明を実施した。														
	6	合併浄化槽整備	松伏町		平成24年度～平成29年度	・平成24年度から平成29年度の6か年で、26基の合併浄化槽の設置に補助金を交付した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年度</td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>整備基数(基)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	整備基数(基)	4	4	4	3	7	4
	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29													
	整備基数(基)	4	4	4	3	7	4													
7	合併浄化槽整備	三郷市		平成25年度～平成29年度	・平成25年度から平成29年度の5か年で、62基の合併浄化槽の設置に対し補助金を交付し、単独処理浄化槽・くみ取り便槽からの転換促進を図った。															
8	合併浄化槽整備	八潮市		平成25年度～平成29年度	・八潮市浄化槽設置整備事業補助金制度により、平成25年度に1基 平成28年度に3基に対し補助金を交付した。															
施設整備に関する計画支援事業	9	事業番号2の施設基本計画設計・発注仕様書作成	組合		平成26年度	・生活排水処理基本計画及びし尿処理施設整備基本構想の方針に基づき、施設基本計画設計・発注仕様書作成を実施した。														
		事業番号2の生活環境影響調査	組合		平成27年度	・廃棄物処理施設生活環境影響調査指針に基づき、周辺地域の春季と夏季の大気質、騒音、振動、悪臭についての調査を実施した。														
		事業番号2の施設整備工事発	組合		平成27年度	・汚泥再生処理センター建設・運営事業の発注業務を適正かつ確実に行うため、発注支援業務を実施した。														

		注支援業務																													
廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業	10	事業番号3の長寿命化計画の作成	組合		平成28年度	・第一工場ごみ処理施設を令和15年度まで延命化するため、第一工場ごみ処理施設長寿命化総合計画の策定を実施した。																									
廃棄物処理施設の基幹的設備改良事業に係る計画支援事業	11	事業番号3の災害廃棄物処理	組合	災害廃棄物処理計画の作成	平成29年度	・災害発生時に今後講ずるべき措置を具体化した実行計画を作成する上での基準となる災害廃棄物処理計画を各市町において策定した。																									
その他	41	再生利用品の需要促進	組合	剪定枝、苧草の堆肥化と堆肥の利用促進	平成23年度～平成29年度	[松伏町] ・枝草の堆肥化施設への搬入等の啓発を行った [組合] ・剪定枝と苧草を4,298.03 t 堆肥化施設へ搬入し、堆肥として1,312.05 t 搬出した。																									
	42	不法投棄対策	構成市町	各市町で分別収集の徹底やパトロールの強化・早期回収を図る	平成23年度～平成29年度	[越谷市] ・関係課等との連携によるパトロールの実施や早期回収の徹底を行った。 <table border="1" data-bbox="1153 927 2105 1011"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不法投棄処理件数（件）</td> <td>1,720</td> <td>1,530</td> <td>1,449</td> <td>1,426</td> <td>1,461</td> <td>1,120</td> <td>959</td> </tr> </tbody> </table> [草加市] ・土曜日及び日曜日を除く毎日、委託業者による不法投棄の予防と早期発見のため、不法投棄パトロールを実施したほか、不法投棄禁止看板を作成し、不法投棄多発場所への設置と希望する市民に配布を行った。 [八潮市] ・看板等作成し、希望のあった市民に配布した。 <table border="1" data-bbox="1153 1256 1789 1340"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布数（枚）</td> <td>100</td> <td>235</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table> ・パトロールを実施し、不法投棄の早期発見と収集を行った	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	不法投棄処理件数（件）	1,720	1,530	1,449	1,426	1,461	1,120	959	年度	H26	H27	H28	H29	配布数（枚）	100	235	90
年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																								
不法投棄処理件数（件）	1,720	1,530	1,449	1,426	1,461	1,120	959																								
年度	H26	H27	H28	H29																											
配布数（枚）	100	235	90	80																											

					<p>[三郷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄多発地区の管理者と不法投棄への対応を協議した。 ・不法投棄内に残っていた宛名ラベル等から不法投棄者について追跡調査を実施した。 <p>[吉川市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに委託し、不法投棄パトロールを行った。 <p>[松伏町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄抑制看板の設置、町内のパトロールを行った
43	災害時の廃棄物処理体制の整備	構成市町組合	災害廃棄物処理計画等の策定や、近隣市町村と連携した処理体制の構築を検討	平成23年度～平成29年度	<p>[越谷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越谷市災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した。 <p>[草加市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草加市地域防災計画に基づき、東埼玉資源環境組合及び構成市町との連携を基本とした、草加市災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した。 <p>[八潮市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八潮市災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した。 <p>[三郷市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年10月に三郷市環境整備組合と「災害時における災害廃棄物の収集運搬に関する協定書」を締結した。 ・三郷市災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した。 <p>[吉川市]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した。 <p>[松伏町]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松伏町災害廃棄物処理計画を平成29年度(平成30年3月)に策定した <p>[組合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に今後講ずるべき措置を具体化した実行計画を作成する上での基準となる災害廃棄物処理計画を各市町において策定した。

3 目標の達成状況に関する評価

目標の達成状況に関する評価については、以下に示すとおりである。

(ごみ処理)

【排出量】

[事業系ごみ]

- ・事業系ごみの総排出量の目標（平成30年度）は65,592tであり、現状（平成20年度）の67,739tに対し3.2%の減少とした。
計画期間中の事業系ごみの総排出量は平成23年度まで減少傾向を示し目標を下回った（平成23年度：65,130 t）が、その後、増加傾向に転じた結果、実績（平成30年度：69,448 t）は目標に対し5.9%の増加であり、目標未達成となっている（現状に対しては2.5%の増加）。これは、地域内の大型商業店舗等の進出や好景気による製造業等の事業活動が好調だったことが要因として考えられる。
- ・事業系ごみの1事業所当たりの排出量の目標（平成30年度）は1.95 tであり、現状（平成20年度）の2.01 tに対し3.1%の減少とした。
計画期間中の事業系ごみの1事業所当たりの排出量は増加傾向を示しており、実績（平成30年度：2.06 t）は目標に対し5.6%の増加であり、目標未達成となっている（現状に対しては2.5%の増加）。これは、総排出量にて示したものと同様の要因によるものと考えられる。

[生活系ごみ]

- ・生活系ごみの総排出量は、本地域が「つくばエクスプレス」の開業や「越谷レイクタウンまちびらき」等により将来的にも人口が増加すると予測したため、目標（平成30年度：218,788 t）は、現状（平成20年度：215,355 t）に対し1.6%の増加とした。
計画期間中の生活系ごみの総排出量は減少傾向を示しており、実績（平成30年度：205,244t）は目標に対し6.2%の減少であり、目標達成となっている（現状に対しては4.7%の減少）。これは、地域内の人口は増加している（平成20年度：875,444人、平成30年度：927,360人）ものの、各市町が実施している排出抑制に関する施策（環境教育、啓発活動によるリサイクル意識の高まり、分別指導の実施、見学会や説明会等の開催）に一定の効果があつたものと考えられる。
- ・生活系ごみの1人当たりの排出量の目標（平成30年度）は228.4kg/人であり、現状（平成20年度）の246.0kg/人に対し7.2%の減少とした。
計画期間中の生活系ごみの1人当たりの排出量は減少傾向を示しており、実績（平成30年度：198.3kg/人）は目標に対し13.2%の減少であり、目標達成となっている（現状に対しては19.4%の減少）。これは、総排出量にて示したものと同様の要因によるものと考えられる。

[事業系生活系ごみ]

- ・事業系生活系ごみの総排出量の目標（平成30年度）は284,380tであり、現状（平成20年度）の283,094 tに対し0.5%の増加とした。
事業系ごみの総排出量が増加したものの、生活系ごみの総排出量が大きく減少したため、計画期間中の事業系生活系ごみの総排出量は微減傾向で推移しており、実績（平成30年度：274,692t）は目標に対し3.4%の減少であり、目標達成となっている（現状に対しては3.0%の減少）。

【再生利用量】

- ・直接資源化量の目標（平成30年度：11,619t（排出量に対する割合4.1%））は現状（平成20年度：11,509t（同4.1%））よりも110t増加するものの総排出量が増加することから直接資源化率は変わらずとした。
計画期間中の直接資源化量は平成25年度の13,666 tを機に減少傾向を示しているが、実績（平成30年度：11,748t（同4.3%））は現状及び目標を上回っており、目標達成となっている。
- ・総資源化量の目標（平成30年度：57,171t（排出量に対する割合20.1%））は現状（平成20年度：52,862t（同18.7%））よりも4,309t（総資源化率は1.4ポイント）の増加とした。

計画期間中の総資源化量は47,000～56,000 tの範囲で総資源化率は16～19%の範囲で推移しており、実績（平成30年度：50,202t（排出量＋集団回収量に対する割合17.3%））は目標を下回っており、目標未達成となっている。

目標未達成の要因としては、集団回収量の減少（平成20年度：24,199 t、平成30年度：15,927 t（34.2%減））が考えられ、特に紙類が大きく影響している。紙類が減少した要因としては、ペーパーレス化などによる紙類そのものの減少、新聞販売店による戸別回収やスーパーでの店頭回収などによる資源化ルートが多様化等が考えられる。

【エネルギー回収量】

- ・エネルギー回収量（発電電力量）は、ごみの排出抑制の推進による焼却対象ごみ量の減少を考慮したことにより、目標（平成30年度：129,394MWh）は、現状（平成20年度：139,077MWh）を7.0%程度下回るものとした。

計画期間中のエネルギー回収量は、計画期間中に整備を行った高効率ごみ発電施設によって、焼却対象ごみ量は減少したものの、実績（平成30年度）が144,141MWhと目標を11.4%上回り、目標を達成している（現状に対しては3.6%上回った）。

【最終処分量】

- ・最終処分量の目標（平成30年度：25,715t（排出量に対する割合9.0%））は現状（平成20年度：28,984t（同10.2%））に対し、3,269 tと1.2ポイントの減少とした。

計画期間中の最終処分量は減少傾向を示しており、実績（平成30年度：20,505t（同7.5%））は現状及び目標を下回っており、目標達成となっている。これは、計画期間中に整備した高効率ごみ発電施設（第二工場）の残渣率が既存のごみ焼却施設（第一工場）と比較して低いことと、焼却処理によって発生する焼却灰の資源化（スラグ化）が要因と考えられる。

（生活排水処理）

- ・各汚水衛生処理率は、各項目とも目標（平成30年度）が現状（平成20年度）を上回るとしている。実績（平成30年度）は、公共下水道人口と未処理人口の割合について現状に対して改善されているが、厳しい財政状況や単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換が予定通り進まなかったことなどが影響し、目標に対しては公共下水道人口及び合併処理浄化槽等処理人口の処理率と未処理人口の未処理率が目標未達成となっている。
- ・目標には達成しなかったが、現状に対しては改善されているため、未処理から衛生処理への転換は各整備計画等に基づき確実に進行しているものと考えられる。

なお、一部の項目の目標未達成が生じたため、様式第10 循環型社会形成推進地域計画改善計画書を別添のとおり作成する。

(都道府県知事の所見)

生活系ごみの総排出量及び1人当たりの排出量は地域計画の目標を上回る結果となった。地域内の人口は計画前よりも増加しているにも関わらず、減量していることを踏まえると、各市町が実施する排出抑制に関する施策に一定の効果があったものと考えられる。

一方で、事業系ごみの総排出量及び1人当たりの排出量の目標は未達成であった。これは評価にあるとおり、地域内の大型商業店舗等の進出や事業所数が増加し排出量が増加したことによるものと想定される。

また、直接資源化量は目標を上回る結果となった。

一方で、総資源化量は目標を達成できなかった。これは、集団回収量の減少、特に紙類が減少したことが要因と想定される。

また、エネルギー回収量、最終処分量は目標を上回る結果となった。

また、生活排水処理については、農業集落排水施設等のみ目標を上回る結果となった。

なお、目標に達しなかった項目については、別途改善計画書を提出してもらい、改善策の実施を求めることとする。

様式第10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
東埼玉資源環境組合地域	東埼玉資源環境組合、越谷市、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町	平成23年度～平成29年度	平成23年度～平成29年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	67,739t	65,592t(-3.2%)	69,448t(2.5%)	-78.1%
	1事業所当たりの排出量	2.01t	1.95t(-3.1%)	2.06t(2.5%)	-80.6%
	生活系 総排出量	t	t(%)	t(%)	%
	1人当たりの排出量	kg/人	kg/人(%)	kg/人(%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t(%)	t(%)	t(%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t(%)	t(%)	t(%)	%
	総資源化量	52,862t(18.7%)	57,171t(20.1%)	50,202t(17.3%)	-100.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t(%)	t(%)	t(%)	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成20年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績 /目標	
総人口	875,444人	957,823人	927,360人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	635,520人	790,776人	749,832人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	72.6%	82.6%	80.9%	83.0%
農業集落排水施設等	汚水衛生処理人口	人	人	人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	67,672人	92,957人	64,304人	
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.7%	9.7%	6.9%	-40.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	171,809人	73,290人	112,692人	
	汚水衛生未処理率	19.6%	7.7%	12.2%	62.2%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

目標が達成できなかった指標とその要因については以下に示すとおりである。

(ごみ処理)

【排出量】

[事業系ごみ]

- ・事業系ごみの総排出量の目標（平成30年度）は65,592tであり、現状（平成20年度）の67,739tに対し3.2%の減少とした。
計画期間中の事業系ごみの総排出量は平成23年度まで減少傾向を示し目標を下回った（平成23年度：65,130 t）が、その後、増加傾向に転じた結果、実績（平成30年度：69,448 t）は目標に対し5.9%の増加であり、目標未達成となっている（現状に対しては2.5%の増加）。これは、地域内の大型商業店舗等の進出や好景気による製造業等の事業活動が好調だったことが要因として考えられる。
- ・事業系ごみの1事業所当たりの排出量の目標（平成30年度）は1.95 tであり、現状（平成20年度）の2.01 tに対し3.1%の減少とした。
計画期間中の事業系ごみの1事業所当たりの排出量は増加傾向を示しており、実績（平成30年度：2.06 t）は目標に対し5.6%の増加であり、目標未達成となっている（現状に対しては2.5%の増加）。これは、総排出量にて示したものと同様の要因によるものと考えられる。

【再生利用量】

- ・総資源化量の目標（平成30年度：57,171t（排出量に対する割合20.1%））は現状（平成20年度：52,862t（同18.7%））よりも4,309t（総資源化率は1.4ポイント）の増加とした。
計画期間中の総資源化量は47,000～56,000 t の範囲で総資源化率は16～19%の範囲で推移しており、実績（平成30年度：50,202t（排出量＋集団回収量に対する割合17.3%））は目標を下回っており、目標未達成となっている。
目標未達成の要因としては、集団回収量の減少（平成20年度：24,199 t、平成30年度：15,927 t（34.2%減））が考えられ、特に紙類が大きく影響している。紙類が減少した要因としては、ペーパーレス化などによる紙類そのものの減少、新聞販売店による戸別回収やスーパーでの店頭回収などによる資源化ルートの多様化等が考えられる。

(生活排水処理)

- ・各汚水衛生処理率は、各項目とも目標（平成30年度）が現状（平成20年度）を上回るとしている。実績（平成30年度）は、公共下水道人口と未処理人口の割合について現状に対して改善されているが、厳しい財政状況や単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換が予定通り進まなかったことなどが影響し、目標に対しては公共下水道人口及び合併処理浄化槽等処理人口の処理率と未処理人口の未処理率が目標未達成となっている。
- ・目標には達成しなかったが、現状に対しては改善されているため、未処理から衛生処理への転換は各整備計画等に基づき確実に進行しているものと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和5(2023)年度まで

目標が達成できなかった指標の目標達成に向けた方策については、以下に示すとおりである。

(ごみ処理)

【排出量】

[事業系ごみ]

- ・事業系ごみの総排出量については、地域内の地域内の大型商業店舗等の進出や好景気による製造業等の事業活動が好調だったことが主要因であると考えられる。本地域においては、今後も交通インフラの整備や新たなまちづくりにより人口の増加が見込まれており、それに伴う大型商業店舗の進出や、首都圏という地理的優位性を生かした新たな製造業の進出などによる事業系ごみの増加が予測されることから、事業系ごみの排出抑制や削減に向け、事業系ごみの多量排出事業者や搬入事業者に対し、ごみの適正区分の徹底に対する働きかけを行い、また、ごみの減量化計画等の作成等の働きかけを行うものとする。

【再生利用量】

- ・総資源化率の向上に関する方策として、集団回収量に対しては、市民団体等による集団資源回収への補助金制度の実施によるリサイクル意識の啓発による向上を図るものとする。また、組合から排出される焼却残渣について、リサイクル率の向上を図るとともに、剪定枝等を活用した堆肥化事業等で再資源化の推進を図るものとする。

(生活排水処理)

- ・公共下水道区域外で汚水処理整備がされていない地域については合併処理浄化槽の設置の推進、併せて単独処理浄化槽の設置者に対しては合併処理浄化槽への転換の推進を図るものとする。

(都道府県知事の所見)

東埼玉資源環境組合地域の目標未達成の原因を分析すると、以下のとおりである。

- 1 事業系ごみの排出量
地域内の大型商業店舗等の進出や事業所数が増加し排出量が増加したことによるものと想定される。
- 2 再生利用量及び総資源化量
集団回収量の減少、特に紙類が減少したことが要因と想定される。
- 3 生活排水処理
単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換が予定された計画よりも進まなかったこと等が要因と想定される。

以上のことから目標を達成するためには、これまでの施策を継続するとともに、新たな施策を検討する必要がある。検討内容としては以下を参考とされたい。

- 1 事業系ごみの削減に向けて、積極的な情報提供及び指導等を行い事業者の排出抑制への意識向上を図られたい。
- 2 住民が資源回収を自主的に実施することを促す制度を活用することにより、ごみの減量・分別・リサイクル等に対する意識の向上や資源化への理解のための施策に取り組まれたい。
- 3 合併処理浄化槽の未整備地域への設置や単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換の推進を図り、汚水処理整備の普及促進に取り組まれたい。

改善計画書に掲げられた施策を確実に実施し、改善に努めることによりさらなる循環型社会の形成推進に期待したい。